

春の生き物 ②植物を育てよう

ヒョウタン
はつが
発芽編

前回の「種まき編」では、ヒョウタンとヘチマの種をまくようすをお知らせしました。種をまいてから10日間、毎日水をあげていると、植物のようすに変化が見られました。植物の成長のようすをみなさんにお知らせします。

かんさつした日：5月7日（木）

かんさつした時刻：午前10時

気温：19℃



【ヒョウタン】



【ヘチマ】

ヒョウタンは、たくさんのポットから芽が出ていますね。同じ日に種をまいたのに、ヘチマの方はまだあまり芽が出ていません。芽が出るのにかかる日数は、植物によってちがうようです。

今回は、ヒョウタンの芽についてくわしくかんさつしていきます。

ヒョウタンの芽をかんさつしよう。



ヒョウタンは、早いものでは種まきから1週間ほどで芽が出てきました。

はじめは子葉が出てきます。2枚の葉が重なっているのがわかります。子葉は、うすい緑色で、大きさは1cmくらいです。



子葉が少しずつ開いていきます。子葉の大きさは少しずつ大きくなり、くきものびてきます。

思い出そう!

はじめに広がる葉を
しょう
子葉 といいます。



【ホウセンカ】



子葉が開き、大きくなってきています。形は細長い だ円形です。色も少しずつ こくなっていくようです。さわると、つるつるしています。

ヒョウタンは、ホウセンカやマリーゴールドと同じように、子葉が出てくることがわかりました。次は、ヘチマの芽のようすについて、お知らせします。

ヒョウタンは どのように成長していくのか、かんさつを 続けよう。